



この1年を振り返って ～幼児教育センター 3大ニュース～

幼児教育センター長 小林 澄子

1 幼稚園教育要領等に係る研修を実施しました！

4月から実施になる幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領では、どの就学前施設にあっても幼児期に相応しい同一の教育が受けられるようにという趣旨の下、3歳児以上の教育について共通化が図られました。ここで示された「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」は、幼児の見取りや保育の改善、また幼小接続にも生かすことができるものと捉え、今年度様々な研修会で取り上げ、周知を図ってきました。「演習のお陰で10の姿がやっと頭に入りました」とは、中堅教諭資質向上研修参加者からの感想です。小学校学習指導要領にも「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を踏まえた指導を工夫すること」「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿との関連を考慮すること」と繰り返し記載されています。各園・所において

は改訂の趣旨を十分理解し、新年度の準備に当たって頂けたらと思います。



2 関係各課・市町村との連携強化を図ることができました！

「夕やけ保育研修会」「子育ての支援者研修会」は、各地域に出向いて行うことで、少しでも多くの先生方に参加して頂こうとするものです。そのためには、市町村教委等の御理解・御協力が不可欠。今年度は13市町村で公民館や市役所等を会場として実施することができました。また、「幼保こ小の接続に関するアンケート」実施に関しては、園・所・学校並びに義務教育課、学事法制課、子育て・青少年課に御協力頂きました。現在、鋭意集計中です。分析結果と今後の改善策については、「幼児教育センターだより」等で発信して参りたいと考えています。



はばたけ!

ぐんまの子どもたち

3 県教育番組制作に協力しました！

平成29年10月17日に放送された「ぐんまの幼児教育」、ご覧になりましたか？

県生涯学習課に協力して、幼児教育に携わる先生方の思いや保育の質向上に向けた幼児教育センターでの研修の様子、こども園の紹介と保護者の声 etc と、盛りだくさんの内容でお送りしました。幸い好評を得ることができ、子どもたちのために頑張っている先生方の取組について、広く県民の皆様知って頂く機会になりました。御出演頂いた方々に、この場をお借りして御礼申し上げます。



平成29年度 特別研修員研修

平成29年特別研修員56名のうち2名が幼児教育に関する研究を行いました。幼児同士をつなぐ援助を通した思いを伝え合える幼児の育成と、小学校が主体となった保育園との連携についての研究です。日々の保育や幼保こ小の連携について、是非参考にしてみてください。

自分の思いを言葉で伝えたり友達の話の聞いたりしながら 遊びを楽しむ幼児の育成 - ごっこ遊びにおける幼児同士をつなぐ援助を通して -

特別研修員 幼児教育 田村智子 (幼稚園教諭)



幼児の実態

- ・擬音語の多用や言葉の不足などにより思いが伝わりづらい。
- ・相手の思いを聞こうとしなかったり聞いても受け入れようとしなかったりする。



教師の願い

- ・相手に分かるように話し、思いが伝わる楽しさに気付いてほしい。
- ・友達の話に興味を持って聞いたり折り合いを付けたりしながら遊ぶ楽しさを味わってほしい。

探検ごっこをしよう (5歳児10月)

<手立て1>

○幼児の実態に合わせたごっこ遊びの設定

- ・経験を生かして友達と楽しめる探検ごっこを設定
- ・道具や材料の数や種類は意図的に少なく設定

○幼児同士をつなぐ援助

- ・代弁や仲介などの言葉掛けと思いを伝え合う場の設定



<手立て2>

○話を聞くための場の設定

- ・実態に合う絵本の読み聞かせ
- ・写真や具体物の提示
- ・話を聞くための座席配置の工夫

探検ごっこ

ピンクの
ビニールテープは、
どこにあるの？



友達に聞く場面

材料の所だよ。
なかったら
先生に言えば大丈夫。

エルマーの動物島の
木にしたい。
〇〇君はどう思う？



思いを伝え合う場面

お話を聞かせて。
この木をどんな
ふうにしたいの？



このままにして、
探検ごっこがしたい
な。

〇〇君は、このま
まがいいんだって。

勝手にやらないでよ！
僕は、こっちに
置きたいんだよ。



折り合いを付けた場面

順番だよ。
今度は僕。

じゃあ、こういう
のはどう？

そのやり方、いいね。



たくさん話していいアイデアが出たね！



おはなしタイム

このお話を読んだら、子ども
たちのイメージが広がるな。

『エルマーのぼうけん』
ルース・S・ガネット 作
福音館書店



実態に合う絵本

こんな遊びを
していたね。



写真の提示

探検ごっこの望遠鏡を
作ったのが楽しかったです。

長いのを
作ったね。
見た人いる？



インタビューの場面

成果 (○) と課題 (☆)

○思いの代弁や仲介などの言葉掛けをしたり、思いを伝え合う場を設定したりするなどの、幼児同士をつなぐ援助を繰り返し行ったことで、相手を意識して自分の思いを言葉で伝えたり、相手の話を興味を持って聞いたりするようになった。

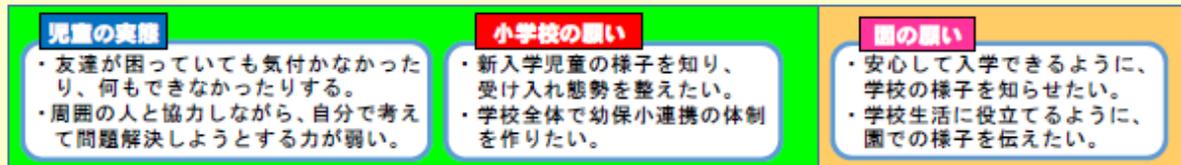
○おはなしタイムを設定し、場面に応じた座席を工夫して、実態に合う絵本の読み聞かせや、インタビューなどを行うことで「話す・聞く」楽しさを感じ、友達に思いを尋ねるようになった。

☆互いの思いが伝わらない場面では、すぐに仲介せず、自分たちで解決できるように、思いを伝え合う場や時間を十分に保障したり、伝え合う姿や折り合いを付けている姿を具体的に認めたりする必要がある。

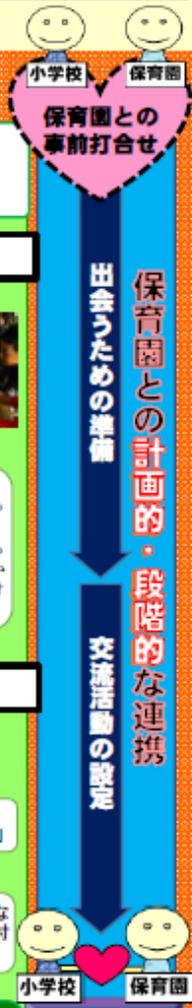
相手の立場を考え主体的に関わる児童の育成

— 出会いつながる、計画的・段階的な幼保小の連携を通して —

特別研修員 幼小連携 森美樹（小学校教諭）



3年生の「総合的な学習の時間」に幼保小連携を位置づける



成果と課題

- 総合的な学習の時間に幼保小連携を位置付けたことで、課題解決をする時間が十分確保できた。
- 児童は年長児の様子を想像しながら目的意識を持って準備を行い、交流場面では、年長児の表情を確かめながら、主体的に関わることができた。
- 園と打合せを行い、段階的に交流をしたことで、互いの様子や教育に対する理解が深まり、次年度への連携の意欲が高まった。
- 保育園や学年と相談し、無理のない時数で学習できるように、年間指導計画を改善していきたい。
- 今後は、他の保育園・幼稚園とも交流可能になるように、様々な連携スタイルを柔軟に考えていきたい。

◆特別研修員の研究に関するお問い合わせは、幼児教育センターにお願いします。
 TEL 0270-26-9203 FAX 0270-26-9222

◆特別研修員の研究内容等は、4月以降、総合教育センターのWebページに掲載されます。ぜひ、ご覧ください。

< トップページ → 教育研修員研修 → 教育研修員の報告書 → 平成29年度 >

今年度の研修を振り返って

夕やけ保育研修会

今年度は9回の研修会を実施しました。
のべ532名の方に参加していただきました。

【共通テーマ研修会「幼児の協同性を培う身体表現遊び」】

(邑楽町、みなかみ町、渋川市)

「幼児の心と身体をひらく～リトミックをとおして～」
リトミック公認インストラクター 深澤 美佐子 氏

参加者の声

実際に動きながら指導のポイントを教
えていただけたので参考になった。

【地域別研修会】(富岡市、藤岡市、中之条町、榛東村、館林市)

○「幼保小接続を考える」

高崎健康福祉大学教授 高梨 珪子 氏

○「気になる幼児の理解と対応

～ティーチャー・トレーニングをとおして～

群馬大学医学部講師 十枝 はるか 氏

○「こだわりの強い子とその保護者への対応」

小児科医 柳川 悦子 氏

参加者の声

園の遊びや体験が、
小学校の学習につな
がっていることが分
かり、いろいろな経験
を子どもたちにさせ
てあげたいと思った。



【特別講演会】(伊勢崎市)

「乳幼児理解と保護者の援助の在り方」

大阪総合保育大学教授 大方 美香 氏

参加者の声

社会の変化に応じ、家庭の背景
を見ながら子どもたちと接して
いく必要性があると思った。



家庭教育充実のための地域で取り組む 子育ての支援者研修会

県内各所で、7回の研修会を実施しました。参加者は
383名でした。ご参加ありがとうございました。

テーマ	開催地	講師
子育て支援の現状と課題 子育て支援の事例発表	伊勢崎市	関東短期大学 教授 森 静子 氏 みなかみ町地域子育て支援センター 渡部 かつ江 氏
気になる幼児と その保護者への支援	沼田市、高崎市、伊勢崎市 東吾妻町、太田市	育英短期大学 教授 栗山 宣夫 氏 NPO法人リンケージ 理事長 石川 京子 氏
音楽を取り入れた 運動遊び・表現遊び	伊勢崎市	大泉保育福祉専門学校 講師 仁井田 千寿 氏

参加者の感想

- 子育て支援の目的が理解できた。また参加したい。
- 事例発表は、写真も多く、たいへん参考になった。
- 他園の人と話す機会がないので、協議や意見交換ができて良かった。
- キーワードや事例が多く、分かりやすかった。
- 子どもが何に困っているかを理解することが大事であることが分かった。
- 研修で学んだことを、他の職員と共有し現場で生かしていきたい。
- 支援はチームで取り組む重要性が理解できた。
今後自園での取組を考えていきたい。
- 行事や活動から表現遊びにつなげる等、今後の保育に生かせる内容だった。



来年度の「夕やけ保育研修会」、「子育ての支援者研修会」の予定は、
幼教だより32号(H30.4月発行予定)でお知らせします。ご期待下さい！

